

テーマ 舞姫が私たちに教えていること

はじめに、このテーマを選んだ理由はこんな難しい文章を書いて私たちに何を伝えようとしたか気になったからです。

これからは、豊太郎がどんな人でどのようなことをしたのかという点とエリスが豊太郎によってどうなってしまったかという点から本文の内容を根拠にどんなに才能があっても自分の意志がしっかりもてなければ自分だけでなく周りの人にも苦しい思いをする羽目になるということを伝えようとしているといった内容で話を進めていきます。

豊太郎は、p 264から親のいうことに従い、上官に従い、ずっと人に従って生きてきた。そのせいで、豊太郎は意志の弱い人間になってしまった。

一時は、p 270からエリスと知り合い、仲良くなって、一緒に過ごすようになり、仕事を解雇されて、p 279から貧しいながらも誰にも従わずにエリスと楽しい生活を送ってもう誰にも従うまいと心に決めていた。

しかし、ある日、豊太郎の旧友である相沢が来たときにp 286から「エリスとの縁を切れ」と言われ、豊太郎は、エリスと一緒にこのまま楽しい生活を送りたいと思いながらも旧友の言葉に断り切れずに「わかった」と答えてしまい、そのことをエリスに伝える決心も付かないまま、大臣に「一緒に日本に帰ろう」という誘いにも断ることができずに日本に帰ることになってしまった。その結果、大切な人を裏切ったことになり、失ってしまい、苦しい思いをずっと心に抱えて生きていかなければいけなくなった。

また、エリスは自分のことを助けてくれた豊太郎は自分のことを見捨てたりはしないだろうと思い、エリスが母親を説得して豊太郎と一緒に日本に帰るときが来たら一緒について行くと決めていたことから、どんなことがあろうと豊太郎と一緒に生きていこうと決心していた。

しかし、豊太郎の意志が弱かったせいで、その思いも叶わないものとなってしまう、そのことも伝えることができなかった。そして、そのことも知らされていないエリスは、豊太郎が病気で寝込んでいる間に、本人からでなく相沢にそのことを知らされてとてつもないショックを受けて、それが原因で治ることのない精神病にかかってしまった。

これは、豊太郎の意志が強く上の人や友達の意見を断ることができたなら、こんなことにはならなかっただろう。また、豊太郎がしっかりエリスにうまく伝えることができたなら大切な人を失うことなく、大切な人を苦しめることもなかっただろう。

以上のことから、豊太郎の意志の弱さのせいでとってしまった行動が豊太郎自身だけでなく、エリスにまで苦しい思いをさせてしまっている。

だから、豊太郎みたいにくら才能があるからといっても、自分の意志がしっかりもてて行動できなければ結局は苦しい思いをすることになってしまう。